



こほく台

# 地区社協だより

第66号

発行日 平成29年3月16日

編集・発行

湖北台地区社会福祉協議会

広報部会

〒270-1132 湖北台3-1-1

電話 (04)7188-1410

## 湖北・駅前「お休み処」ミニイベントを開催しました

\*12月17日(土)に年末恒例のミニコンサート「すずの木クワイア」によるハンドベル演奏会が大盛況のうちに開催されました。クリスマスソングを中心にした演奏で、初めてハンドベル演奏を聴いた人も多く、澄みわたるような音色と鮮やかな演奏テクニックに感動していただきました。

1月20日(金)には「新春の集い」が開かれました。新春にふさわしい箏・尺八による「春の海」

の演奏のほか日本舞踊・どじょうすくいなど出し物も豊富で約2時間大いに楽しんでいただきました。

また、1月から2月にかけて、台中・西、東小学校の皆さんによる書初めの展示を行い、大勢の方に鑑賞していただきました。皆さんご協力ありがとうございました。



舞 踊



琴・尺八演奏



ひょっとこ踊り



ハンドベル演奏



武 田 節



酒田船方節

## 介護予防教室 「転ばないための体操教室」 開催

12月6日(火) 湖北・湖北台地区高齢者な  
んでも相談室との共催で、湖北台近隣セン  
ター多目的ホールにおいて開催しました。今  
回も会場いっぱいのご参加をいただき、回を  
追うごとに増加傾向にあります。

おなじみのウェルネス葛西の大場基健康運動  
士の講義と実技指導を学習、体験しました。  
介護予防とは「要介護状態になることをでき  
るだけ防ぐ(遅らせる)こと、またすでに要  
介護状態になっていてもその悪化をできるだ  
け防ぐこと」を指しております。ロコモティ

ブシンドローム(ロコモ)日本語では「運動  
器症候群」といい、足腰が弱くなり、転倒・  
骨折の危険性が高くなった状態を表す言葉で  
す。

足腰の筋力を鍛えるために、家の中で家事を  
やりながらでも簡単にできるような運動方法  
をたくさん教えていただきました。参加した  
皆さん実践していますか? 粘り強く継続す  
ることがもっとも大切だそうです!

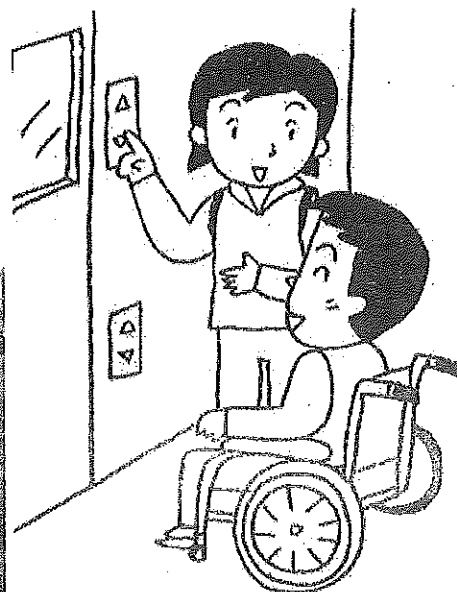
今後も継続して開催する予定です。皆さん  
のご参加をお待ちしております。

## 第18回 「認知症サポーター養成講座」 を開催しました

2月8日(木) 一般向け「認知症サポーター  
養成講座」を開催しました。

2025年には約700万人、高齢者5人に  
1人が認知症といわれる今、認知症について  
正しく理解し、認知症の方やその家族を温か  
く見守り支える、認知症サポーターになっ  
てもらう講習会で、当地区社協ではすでに18

回目の開催となり、累計受講者は654人に  
達しました。また並行して湖北台中学校の3  
年生を対象に同様の講座を開催しており、す  
でに8回 累計954人の受講実績となっ  
ております。 今後も定期的に開催予定です、  
ポスター、市公報などでご案内しますので皆  
様のご参加をお待ちしております。



## ガンバッテいます

### 子どもパトロール隊

湖北台西、東小学校児童と我孫子警察署員（先生・地区社協委員も同行）による『子どもパトロール』（おじいちゃん・おばあちゃんを守ろう隊）活動は、平成26年2月にスタートし今年2月で4年目に入りました。毎月2回、各自治会ごとにある見守り組織のご協力をえて、地域の高齢者の方々の安全、安心のため交通事故防止、電話による詐欺被害防止を願い“夕暮れ時・自宅の近く・横断中・左からの車による事故が多いのでご注意下さ

い。”“オレオレ詐欺や還付金詐欺などの電話に気をつけましょう”とパンフレットを持参して注意と協力を呼びかけています。訪問先の高齢者の方々から“ありがとう、ご苦労さま、ガンバッテね”の言葉をいただいております。現在は、7丁目団地住宅を中心に実施し、延べ61回、訪問実績は数百軒以上となっています。今後ともよろしく願いいたします。

## 【お知らせ】

### \*鯉のぼり祭り 5月5日(こどもの日)

午前10時から湖北台中央公園にて開催します。鯉のぼり・湖北台を歩こう・手作り鯉のぼり・玉入れ・パン食い競争など楽しい企画が盛りだくさんです。

\*自治会連合会・まち協・社協 共催行事

### \*第16回湖北台福祉バザー

6月17日(土)午前11時から湖北台近隣センターにて開催します。

掘り出し物があるはず!! ご来場をお待ちしております。

## 【お休み処】ボランティアスタッフを募集しております

【お休み処】は日曜日を除く毎日、10時～16時まで1日4人、約100人のボランティアによって運営されております。午前(10時～13時)か午後(13時～16時)どちらか3時間、月に1回でもお手伝いいただける方を募集しております。事務所までご連絡をお待ちしております。

## ご寄付ありがとうございました。

切手・インクカートリッジ・古切手・はがき・雑貨・寄付金・等をいただきました。湖北台教会、教会学校様(3,000円)・山岸広志様(10,000円)・石崎善彦様(1,000円)・山崎操子様・服部剛雄様・塩野谷勉様・(有)ダイヤマシン様・下藤明男様・小倉宏也様・平野正宏様・板倉憲一様・宍戸一治様・秋田様・金児誠一様・鈴木幸子様・藤田かよ子様

## 中丸陽子さんのこころ遊びすざ 湖北台10丁目在住

中丸陽子さんといえは、在宅福祉サービス『まどか』の創設者として、その名をご存じの方も、多いかもしれません。我孫子の高齢者福祉の一翼を、なつてこられたのですから。

『まどか』の30年（今年で31年）は、その存在なくしては、語れない。

その道程は、どれほど大変であったことか。さて、その生い立ちに、ちよつと触れてみたい。生まれは、北海道の、室蘭で、陽子さんが二歳の時母親が病死。（だから私は、母の顔を知らないのです。もらい乳や、牛乳で、そだててもらったのです）との事。お父様も陽子さんが、八歳の時病死。家業が、商家だったので、未つ子のわたしは、兄や姉たちの大家族と、お店に出入りする方々によつて育てて戴いたので

す。大家族で、本当によかつた。手のかかる私は、子供のいない、少し離れた伊達町の、叔母の家で、小学校時代をすごした。中学になると室蘭の実家に戻り、高校卒業後東京の大学へ進学、卒業後は、自立を目指し、国家公務員上級試験を受験、合格したものの当時は、女性を登用してくれぬセクシヨンが無く、とりあえず東京大学の、非常勤職員として働き始めた。そこでご主人と出会い、結婚。勤務先の、筑波の宇宙開発事業団（JAXA）と浜松町の本部との地中間地点として、天王台に居をかまえた。

3人の子供を育てる中で、将来の社会復帰を夢みて、行政書士の資格を取つたり、朗読ボランティアに、参加するようになりました。その後、母親仲間と、高齢者施設ボランティアに通うようになり、（本当は、

家ですごしたいが、家人手がないので、仕方なく、この施設に入所しているのよ。）と。生の声をいっばい聞き、在宅福祉サービスの必要性を痛感し、（なんとかしなくては）と、友人たちと『まどか』を立ち上げたのです。賛同してくれる良き仲間がいたからこそ実現できたのですとおっしゃる。最初の約10年は、ご自宅を事務所にして、企業の福祉基金を活用し事務機器をそろえ、活動の場をひろげ、我孫子市より中峠の小さな事務所を貸与され、1999年に、NPO法人格を、取得する

とともに、介護保険への参入の複雑な申請手続きも自力で頑張りました。

1級ヘルパー資格、ケアマネジャー資格も取り、介護保険による、訪問介護を開始して、天王台に、事務所を移転し（自前の）。

ママヘルプや、障害者支援、デイサービス事業など大切な事は次々と、実行していった。いまは、次を担う方への道筋も見えてきたので、後期高齢者への仲間入りも楽しんで受け入れた、との事。ご自分の予防も目指し、3年程前（水曜の会）をたちあげ、（第2と第4水曜日、1時から3時。天王台、まどかにて）歌、と、体操で、健康づくり。若さづくりを目指していらつしやる。

最後に、陽子さんからのメッセージ  
人生は、まああるく手をつないで、どんな時も  
快適に、いきましようね。

人生は、我慢して生きるのではなく、快適に楽しむながら生きたいものですね。そして、孤立無援社会から、有縁安心社会へ、人と人の巡りあいを大切にしたいものですね。

（福）

### 編集後記

まもなく桜の季節がやってきます。今年のお花見の予定は決まりましたか。たより66号を届けます。ご意見、ご希望をお寄せください。